

クラストコ

働く

02

豊橋の筆工房で働く

中西 由季さん(28歳)



古くから代々受け継がれる、  
匠の技の結晶、伝統工芸。  
豊橋には、200年以上前の  
江戸時代に誕生し、  
国内有数の生産量を誇る  
豊橋筆があります。  
その中で唯一、女性の豊橋筆職人  
として働く中西さん。  
豊橋筆との出会いや、  
筆作りの工程などを紹介します。





川合 福男さん(68歳)

豊橋筆を作り始めて50年。書道家や日本画家など、使い手の声を聞きながら、70種類以上の筆を作り、好評を得ている。

profile

幼い頃からモノづくりが大好きで、京都伝統工芸大学に入学。地元・豊橋の伝統工芸を学びたいと、豊橋筆職人の川合福男氏に師事。職人歴7年目。

「本気で豊橋筆職人になりたい」  
伝統工芸を次世代に継ぐ女性職人。

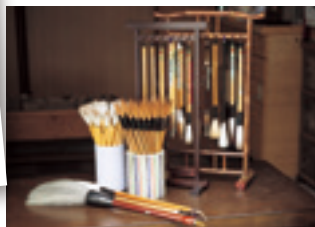
京都で生活していた大学生の頃、伝統工芸に携わる仕事をしたいと考えていた中西さん。「豊橋に戻り伝統工芸の道へ」と思った時、“豊橋筆”に出会います。「豊橋筆は1人で全工程を行うため、責任感とやりがい生まれるのがいいなと思います。作業は自宅でやる事も多く、自由なスタイルが自分にぴったりだと思ったのも決め手のひとつでした」しかし、市内にある筆工房を何か所も巡っても、弟子入りは難しく断られ続ける毎日。それでも、師

匠・川合さんとの出会いがきっかけとなり、職人の道へ。「伝統工芸士になるには約20年かかるので、途中で辞めてしまうのでは…」と思っていた川合さん。本気で「豊橋筆職人になりたい」という熱い想いに心動かされました。「今では、一人前の職人として全工程を任せています。若い職人が増えてほしいですね」と、川合さんも期待を寄せています。

豊橋筆職人では唯一の女性として、今日も中西さんは筆作りに励んでいます。



工作が大好きだった幼少期。  
子どもたちの作品が集まる造形パラダイスでのひとこま。



大小さまざまな筆が  
ずらりと揃う豊橋筆。  
墨含みの良さと滑らかな書き味で、全国の書家たちから支持されている。

## 豊橋筆ができるまで

豊橋筆作りには約36の工程があります。  
大きく4つに分けた工程を紹介します。



### 1. 毛もみ

もみから  
糊殻を燃やした灰をかけて揉み合わせ、毛の脂分を取り除く。毛先が途中で切れているものを取り除き、まとめていく。



### 2. 練り混ぜ

ヤギや馬など、いろいろな長さの毛を組み合わせたものを、何度も丁寧に広げ折り畳んでいく。



### 3. 芯立て

筆の大きさに分けた毛束を、1つ1つ小さなこま(型)に通して太さを均等に仕上げる。



### 4. 尾締め

グツと歯で噛みしめながら、穂先の根元に糸を食い込ませてコテで焼き、熱いうちに筆の先端を焼き上げる。

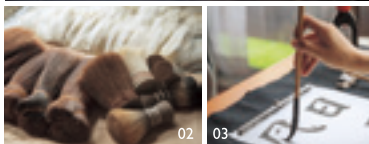
## 豊橋筆の極意



01

#### 極意 01 伝統工芸を支える道具

ハサミやくしなど、シンプルな道具をいくつも使い分ける。穂先の寸法を決める「分板」は筆によって組み合わせを変える。



02

03

#### 極意 02 動物の毛の特徴を理解する

ヤギの毛は柔らかく、馬の毛は強く光沢があるなど、それぞれの特徴を理解し、混ぜ合わせることで、ベストな筆が誕生する。

#### 極意 03 10年、20年先も同じ書き味に

「使い手のことを考えて作る」のが豊橋筆の良さ。職人それぞれの個性は出さずに、常に同じ形や質感を保つことが大切。

Schedule  
中西さんの「働く」1日

6:00 起床

筆作りがスムーズにいくように、「毛の選別」などの下準備を自宅で行う。

筆専用のアイロンで  
くせを取ります



毛の選別



8:00 出勤



自転車で通勤する中西さん。  
約10km離れた工房まで、40分かけて  
雨の日でも自転車で向かう。

師匠チェック



1日中あくらをかいて  
仕事。初めは、あくら  
をかきすぎて腰を痛  
めました…!



中西さんが作った筆を  
師匠が細かくチェック

中西さんが作った筆は、  
段階に分けて師匠の川  
合さんにチェックしても  
らう。「職人はいつまでも  
日々勉強です。教えるの  
ではなく、考えて取り組  
むことで成長にもつな  
がります」と川合さん。

こんな仕事もしています

小学校の出前授業

市内の小学生に向けた出前  
授業を行っており、豊橋筆  
作りの体験を通して、その  
魅力を伝え続けている。



職人の  
仕事に緊張…

17:00 終了

心も静まります。

18:00 帰宅

自分が作った筆の使い心地  
などを確認するため、書道  
をしている。



書道

「福筆」ふくふて

販売に向けて  
準備中!

“子どもを洗える世界一やさしい筆”をテーマに新しく誕生した子ども用洗浄筆にも注目。



クラストコ

オフの日



## 多彩な趣味を満喫！

休日はアクティブに過ごすことが多いという中西さん。筆作りの真剣な姿とはまた違った一面に出会いました。

趣味  
1

### バドミントン



毎週、地区体育館で行っているバドミントンサークルに入会。大勢のメンバーと一緒に、和気あいあいと打ち合い、ストレス発散。

趣味  
2

### ガーデニング



「心も癒やされる」とガーデニングに興味を持ち始め、毎朝の水やりや、手入れなどを行う。自宅には、四季折々のきれいな花が咲き、野菜も実る。

趣味  
3

### サーフィン



お父さんがやっていたのがきっかけで、5年前から始めたサーフィン。自宅から海までも近く、時間がある時は友人と一緒に海へ向かう。

これから  
の夢



まずは、伝統工芸士の資格を取ることが目標です。そして、時代のニーズに合わせて、筆の売り方や表現方法を学びながらPRしていきたいです。若手の女性の豊橋筆職人も増えてほしいですし、ゆくゆくは育てていきたいとも考えています。

伝統工芸士とは… 伝統工芸の技術や技法を保持する人を認定する国家資格。12年以上の実務経験がある上で、知識・実技のテストを受ける。